



# 人材育成

## 坂出市の取り組み

四国防災・危機管理プログラム第1期終了生  
坂出市総務部職員課危機監理室  
危機監理専門官 笠井 武志

# 防災における自治体での課題

- ・地方自治体及び消防機関においては、自然災害、テロ事案等に対応するため、**職員の防災力、危機管理能力を高める必要がある。**
- ・南海トラフ巨大地震等の大規模な災害が発生した場合は、防災・危機管理担当の職員だけでなく、**全職員で対応する必要がある。**

しかし、現状は...

- ・**職員の退職や異動があった場合の引継ぎや、業務に係る教育が十分に行われていない。**
- ・**担当職員以外は、防災・危機管理業務の知識を有していない。**

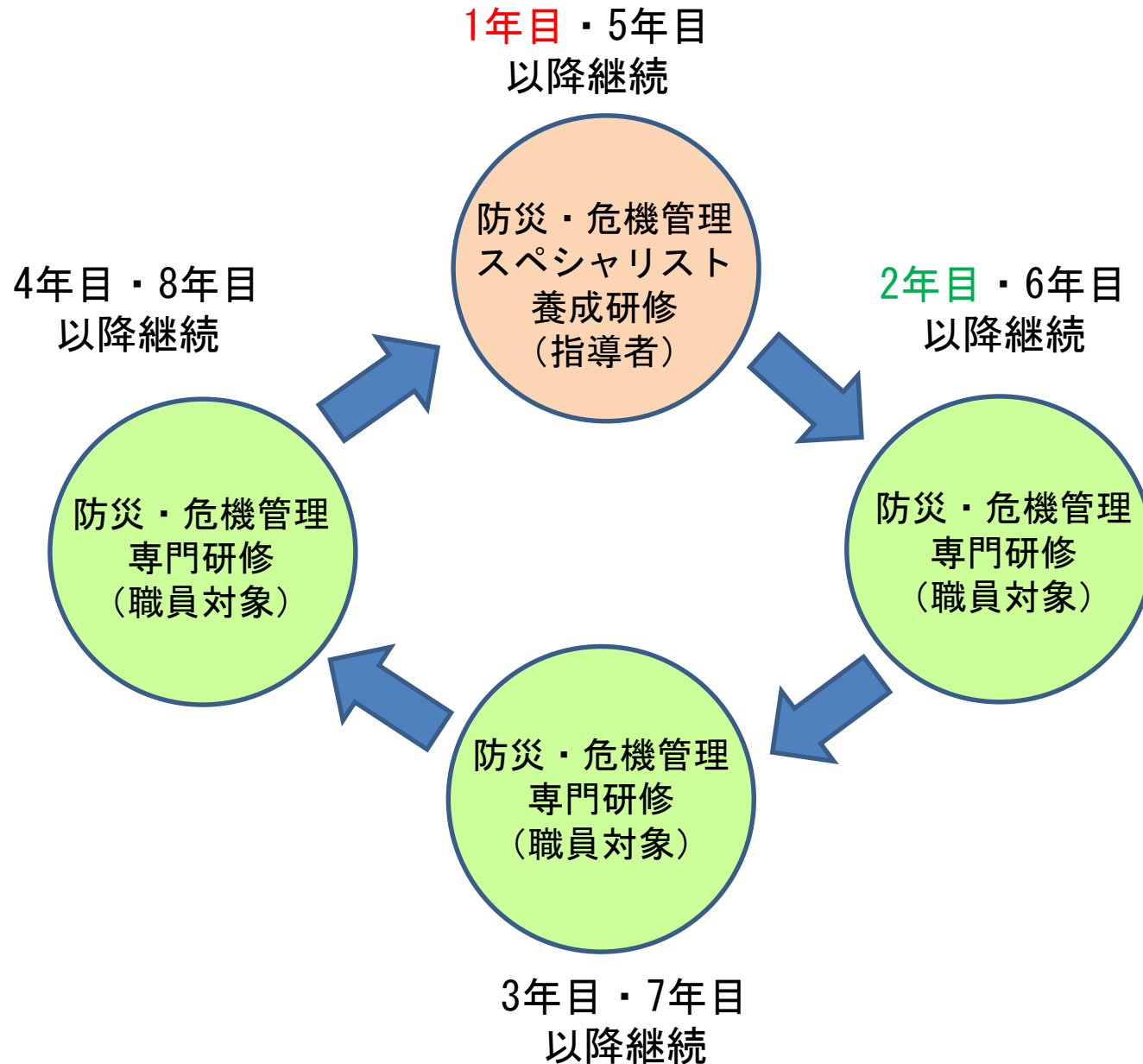


# 坂出市の取り組み

## 坂出市の職員の防災・危機管理能力 を高める取り組みについて

～自組織内で指導者を要請して、その指導者が  
全職員に指導する教育システム～

# スケジュール



# 坂出市防災・危機管理スペシャリスト養成研修

## 1 目的

- (1)市の防災力向上、危機管理体制の強化及び防災・危機管理政策の推進
- (2)標準化した教育システムの構築

## 2 対象者

危機監理室職員(異動した職員を含む)、消防職員(吏員)、専門研修受講者

## 3 内容

### (1)教育プログラムの作成

防災・危機管理・教育等の専門家の協力により構築

### (2)専門家による研修(「スペシャリスト」の誕生)

2019年度教育プログラム(約40時間)に基づき、専門家による養成研修を実施。職員16人を育成(市長名で認定証発行)

### (3)2020年度からはスペシャリストが指導者となり、全職員を対象に数年かけて専門研修(約10時間)を実施(受講すれば次回のスペシャリスト養成研修の受講資格有)

※2019年4月要綱作成済



# 今後見込まれる効果

1. 資質の高い防災・危機管理教育がシステム化され容易に
2. 全庁的な「防災力」の向上
3. 市全体の防災力向上

# スペシャリスト養成研修風景



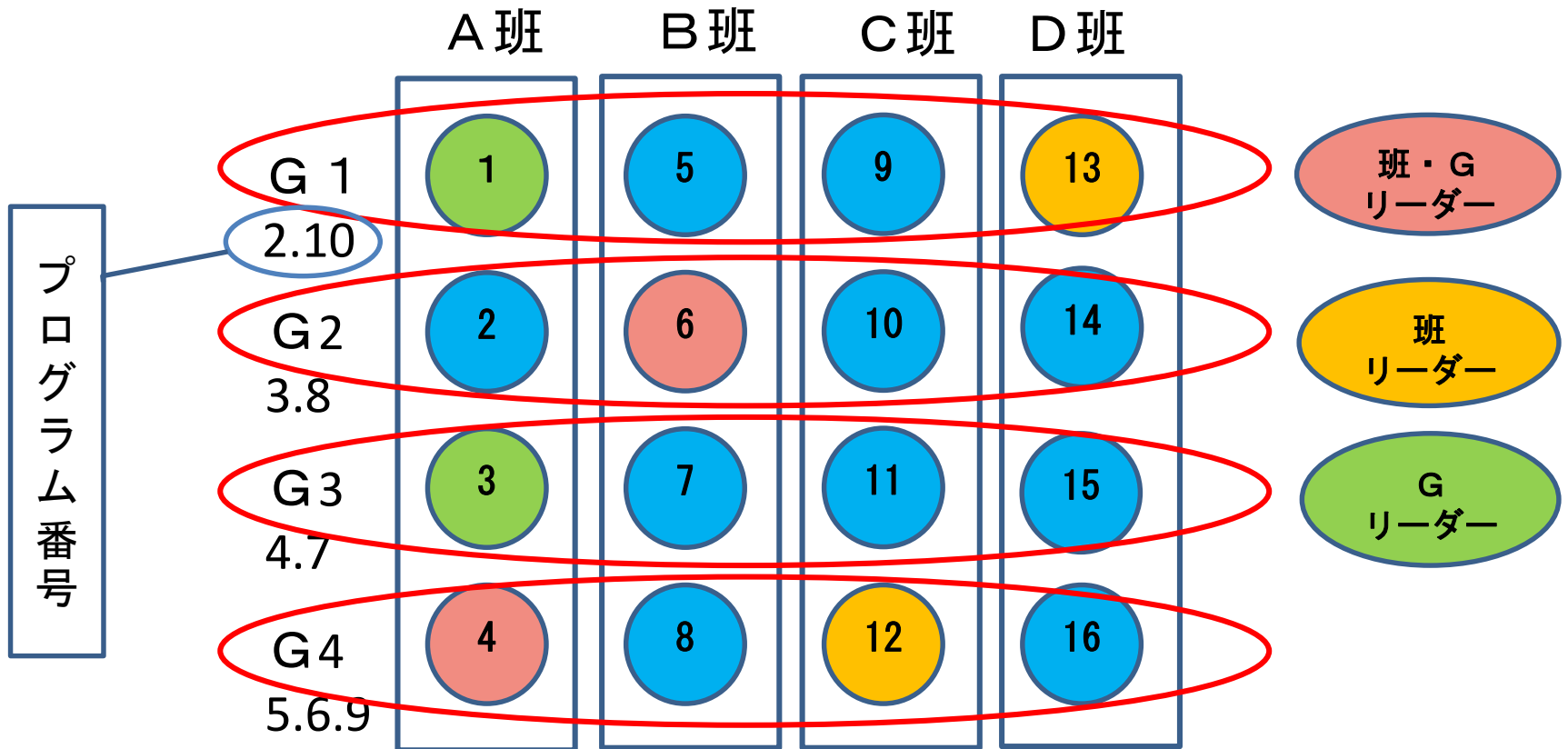


# 認定式(令和2年9月1日)





# 指導者を班分け & グループ分け



# 全体及び各グループ打ち合わせ

全体会議



グループ会議



# 坂出市防災・危機管理専門研修始動

## 【目的】

- 本市における防災・危機管理体制の強化および防災・危機管理施策の推進を目的とし、部長以下、全職員に防災・危機管理研修を行う。
- 災害発生時は、全庁を挙げて全職員でフェーズごとに優先順位を付け、対応する必要がある。住民を守るのは、防災担当だけではない。有事の際は、職員全員が力を結集して事態の收拾にあたる。

# 専門研修プログラム

- 約10時間のプログラム
- 内容は、防災・危機管理などの座学・ワークショップ・演習など
- 対象は全職員（約480名）
- 基本は1日半で実施予定
- 1回の研修は50名程度
- 指導は、基本的には、坂出市防災・危機管理スペシャリストが行う

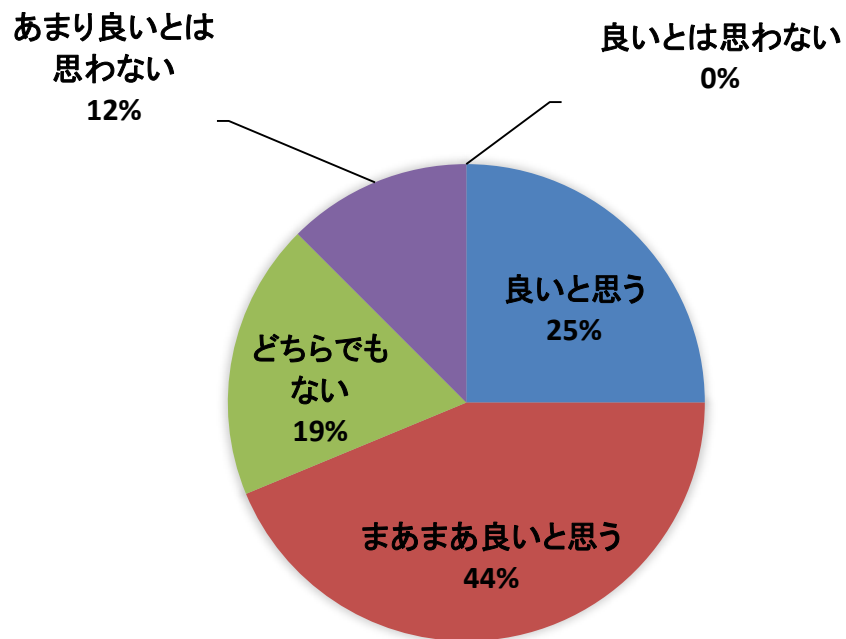


# 第1回防災・危機管理専門研修開催



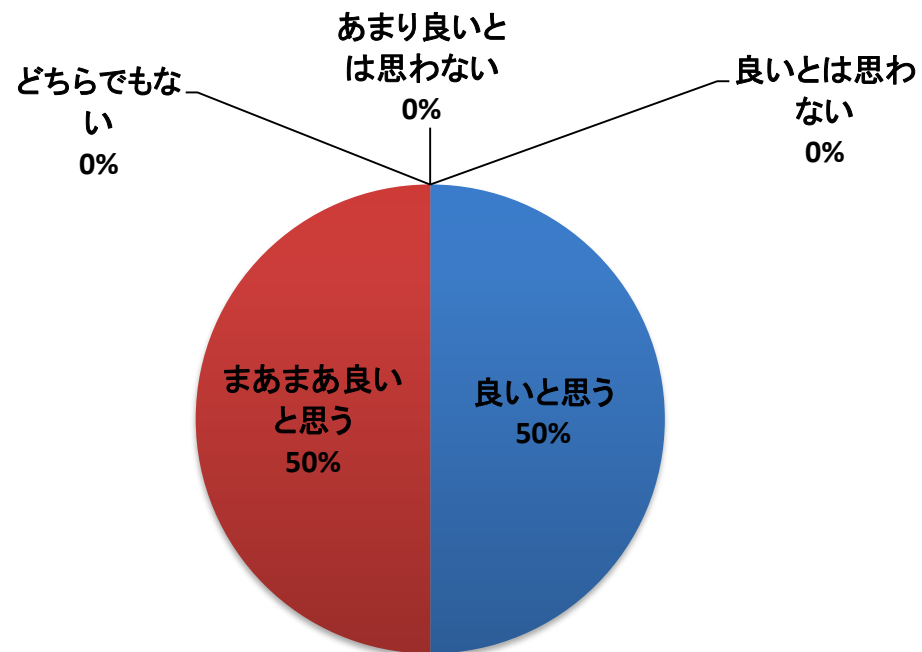
# アンケート結果（スペシャリスト）

(1) 研修ごとに1班が主に担当する方式についてどう思いますか



n=16

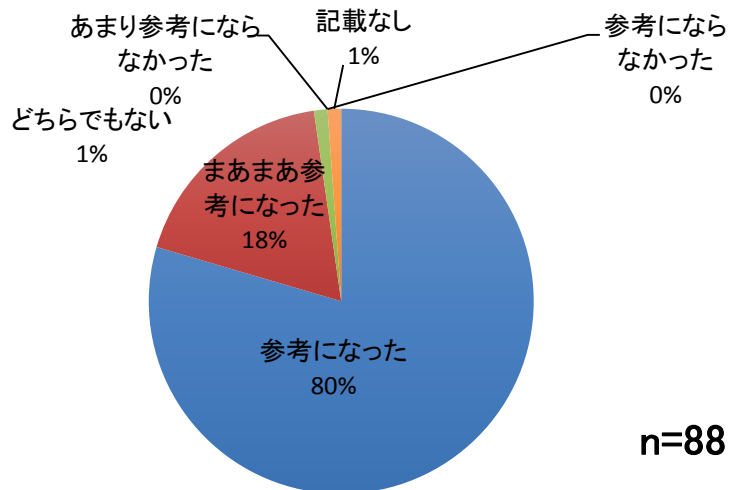
(2) 担当するプログラムをグループ分けして検討して資料を標準化する方式についてどう思いますか



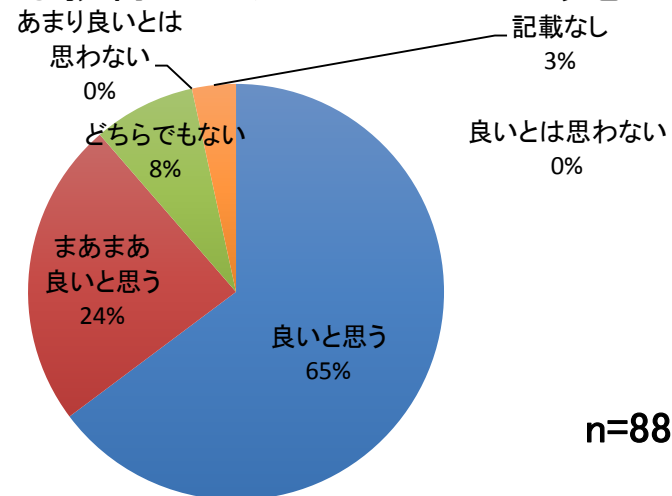
n=16

# アンケート結果（受講者）

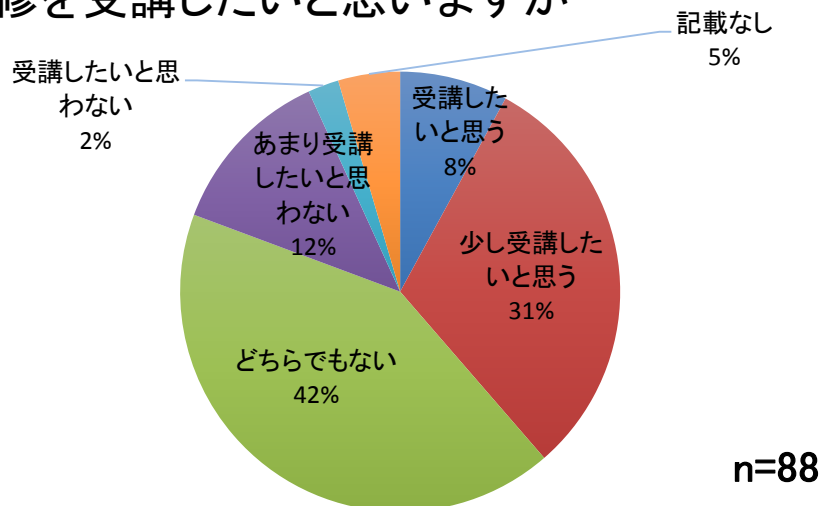
## 専門研修を受講して



## 自組織で養成した防災・危機管理スペシャリストが指導する教育システムについてどう思いますか



専門研修を受講したらスペシャリスト養成研修の受講資格ができるのですが、次回のスペシャリスト養成研修を受講したいと思いますか



**御静聴ありがとうございました！**